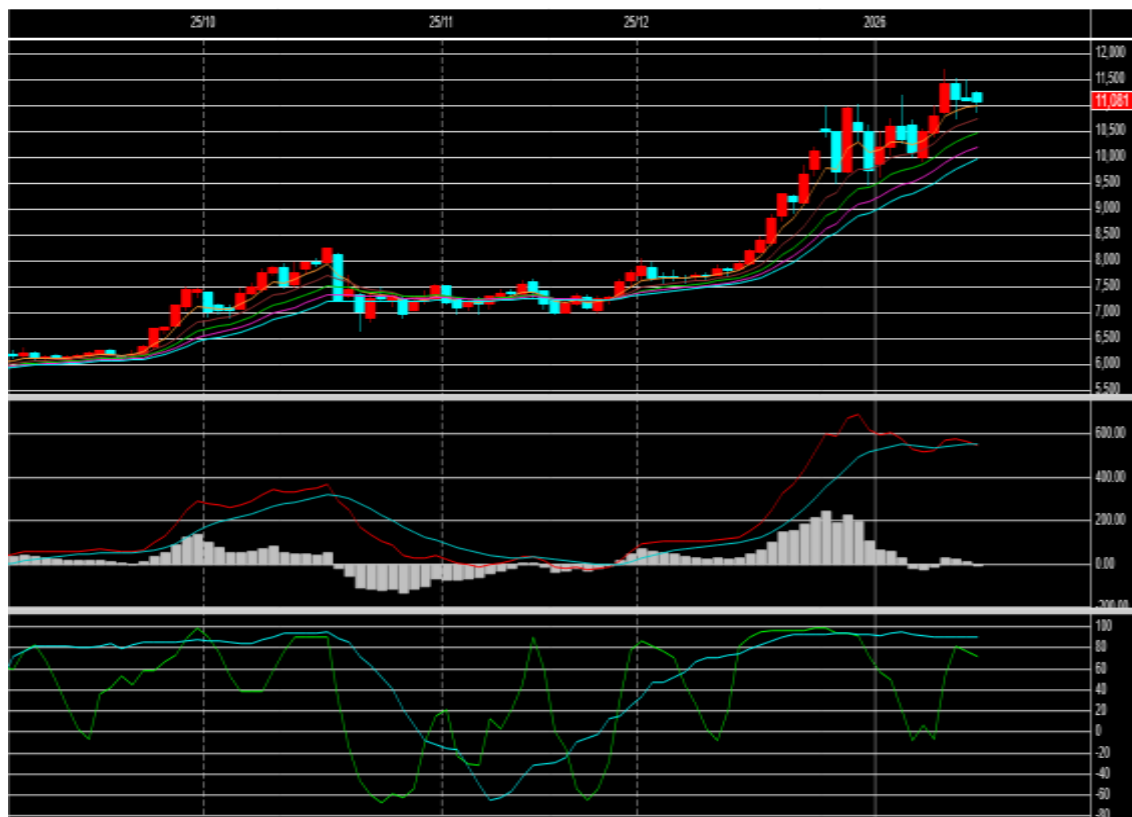


<白金標準、重要鉱物に対する関税見送りの波紋・・・>



(出所：オアシス)

2022 年に重要鉱物に指定されているプラチナとパラジウムは、昨年トランプ大統領が銅に関税を課すとの発表以降、シルバーを重要鉱物に指定し、ロンドン市場から NY 市場へ関税を狙った現物の移動が高まりを見せている。プラチナも同様に関税要因を受け、ロンドン市場のリースレートは 1 ヶ月物で 18%を維持しており、ロンドン市場の品不足を示すなど関税を期待した動きを見せていた。そのため今回のトランプ政権が重要鉱物に対する関税を見合わせる発表は、重要鉱物のシルバー、銅、プラチナ、パラジウムの高値追いが抑えられる可能性が高まる要因に思える。しかしトランプ政権は重要鉱物に対する関税を課す事を取りやめた訳でもなく、4 月にトランプ大統領は中国訪問が予定されており、中間選挙を考慮しても外交で失敗は許されない事から訪中が終わるまでは重要鉱物に対する関税は期待できないと見られ、目先高値追いの値動きから関税要因が消えただけに、目先は修正に注意が必要に思える。そのため白金標準先物は 11688 円まで高値を試すも高値が抑えられた値動きを行っており、11000 円を下回る値動きに注意しながら 10000 円を維持する値動きを確認するのが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、シグナルを下回っている。RCI では**短期**が切り下げだし、**長期**が 90%以上を維持している。ただ日足と指数平滑移動平均線の乖離が無くなり 11000 円を割り込む可能性は高いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,226,000 円(2026 年 1 月 19 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 129,360 円(2026 年 1 月 19 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>